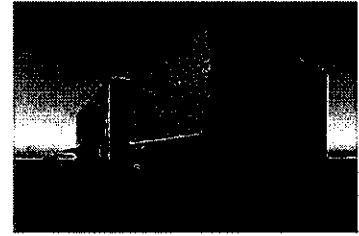


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 鶴屋吉信 京都工場(仮)	階数	地上4F
建設地	京都府亀岡市大井町南金岐好実橋	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条の地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,880 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年2月16日
敷地面積	6,688 m <sup>2</sup>	作成者	戸田建設(株) 林 伸昭
建築面積	2,344 m <sup>2</sup>	確認日	2017年2月20日
延床面積	6,953 m <sup>2</sup>	確認者	戸田建設(株) 林 伸昭



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合	特になし
その他	特になし
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>
室内の環境に配慮してF☆☆☆☆の建築材料を使用。	耐用年数の高い建築材料採用。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	<b>LR1 エネルギー</b>
できる限るの緑地を敷地内に配置。	LED照明の採用。 外壁にアルミ亜鉛合金メッキ鋼板サンドイッチ断熱パネルを採用。
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
ノンフロン断熱材の使用 節水型便器・自動水栓の採用	適切な量の駐車・駐輪スペースの確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される